

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
コンピュータリテラシー I	国際 I T エンジニア学科 電気・CADコース／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

- ・現代社会で必須となるITに関する基礎知識を体系的に学習する。
- ・教科書の単元内容の説明を日本語で行うとともに、教科書の説明では不足している専門用語について別途作成のコンテンツにより、解説する。
- ・教科書の単元ごとに準備されている「単元確認問題」により、各単元内容の理解度を図り、その解説により理解度を深めるようにする。
- ・教科書には留学生が情報処理の基礎知識を学習するための入門書として、漢字とカタカナにはルビが振られているものを使用する。

授業終了時の到達目標

- ・情報技術を適切に活用することができ、日本での日常生活や学校生活、将来のキャリアに役立てるためのITリテラシーを身に付ける。
- ・パソコン利用（特にインターネット利用）に必要な知識の習得ができている。

実務経験有無	実務経験内容
有	システムハウスでのプログラマー、システムエンジニアとして10年間の勤務および、専門学校での情報分野科目を31年間担当。

時間外に必要な学修

- ・単元ごとに準備されている「単元確認問題」を整理し、各自の理解に役立てる。
- ・普段からコンピュータに興味を持ち、利用するだけでなく知識を身に付けることを心がける。
- ・授業を通じて、インターネットの活用についてスマートフォンやタブレットを安全に利用することを心がける。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	単元 1 「コンピュータの種類」	<ul style="list-style-type: none"> ・ P C 、サーバー、スマートフォン等、様々なコンピュータの種類と特徴を学ぶ。 ・ 用途に応じたコンピュータの選び方を理解する。 ・ 学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
2	単元 2 「コンピュータの基本構成」	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ コンピュータの五大装置を図と合わせて理解する。 ・ オペレーティングシステムとアプリケーションソフトについて理解する。 ・ 学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
3	単元 3 「プロセッサとメモリ」①	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロセッサ (CPU) とメモリ (RAM) の具体的な役割と性能指標を学ぶ。 ・ 代表的な記憶装置と記憶階層について学ぶ。
4	単元 3 「プロセッサとメモリ」② 単元 4 「ソフトウェアの利用」①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光ディスク装置とフラッシュメモリについて学ぶ。 ・ システムソフトウェアについて理解する。 ・ 学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。

回	テ　ー　マ	内　　容
5	単元4「ソフトウェアの利用」②	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルシステムとデータのバックアップについて学ぶ。 ・ソフトウェアライセンスに関する様々な形態について理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
6	単元5「データベースの構築」	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの利用目的とその種類について理解する。 ・データベース設計の手順について学ぶ。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
7	単元6「データベース管理システム」	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース管理システム(DBMS)の役割と機能について学ぶ。 ・SQLの基本コマンドを理解し、簡単なデータの操作方法を知る。 ・データベースの保全機能と障害回復機能について学ぶ。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
8	単元7「ネットワークの基本構成」①	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN、WAN、インターネットなどのネットワークの種類と、その構成要素を学ぶ。 ・IoT関連技術、移動体通信規格について学ぶ。
9	単元7「ネットワークの基本構成」② 単元8「インターネット技術」①	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な通信プロトコルについて学ぶ。 ・代表的な通信サービスについて学ぶ。 ・WWW、電子メール、FTPといった主要なインターネットサービスの仕組みを学ぶ。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
10	単元8「インターネット技術」②	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールサービスの詳細内容を理解する。 ・IPアドレスの仕組みを知る。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
11	単元9「情報セキュリティの概要」①	<ul style="list-style-type: none"> ・JISが定めている情報セキュリティの特性を学ぶ。 ・リスクマネジメントの手順と実際のセキュリティリスクの種類について理解する。
12	単元9「情報セキュリティの概要」② 単元10「情報セキュリティ対策」①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティマネジメントについて学ぶ。 ・情報セキュリティに関する具体的対策を学ぶ。（人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策） ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
13	単元10「情報セキュリティ対策」② 単元11「暗号技術」①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関する具体的対策を学ぶ。（物理的セキュリティ対策、IoTのセキュリティ対策） ・生体認証に関する動画視聴。 ・暗号技術の必要性を理解する。 ・共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式の仕組みを理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。

回	テ　ー　マ	内　　容	
14	単元11「暗号技術」②	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド暗号方式の仕組みを理解する。 暗号技術の応用と無線LANの暗号化について学ぶ。 学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。 	
15	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 単元11までのテキスト内容と「単元確認問題」から25問出題。 言葉で答える問題5問、選択問題20問とし、テキスト持ち込み可で試験を実施する。 	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
留学生ためのITリテラシー（インフォテック・サーブ） 単元ごとに準備されている「単元確認問題」	確認テスト 期末試験	20.0% 80.0%	

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
授 業 時 間	回 数	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択
90分	60回	2単位 30時間	必 須
授 業 の 概 要			
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語でコンピュータを使用するための基本事項を身に付ける。 ・フォルダーやファイルの操作方法など、Windowsの基本操作を理解する。 ・パソコンを使用して、文書、表などのドキュメント作成上の基礎を身に付ける。 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンでドキュメント作成上の基礎を身に付ける。 ・パソコンを使用してひらがな・カタカナ・漢字入力をスムーズに行えるようになる。 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を通してドキュメント作成上の基本操作やアプリケーションソフト操作のノウハウを蓄積。 ・Microsoft Office Specialist (Word/Excel/PowerPoint) 取得。 		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・ルビのない簡単な日本語の文章を普段から読むようにする。 ・濁音、撥音、促音を含む語彙を正確に発音するように注意する。 ・授業の予習・復習、・課題の実施 			
週	テ ー マ	内 容	
1	パソコンや入力操作の基本、ファイルやフォルダの操作 Word文書の読み込み保存	<ul style="list-style-type: none"> ・マウス操作、キーボードの名称と機能 ・タッチタイピング 	
2	word入力操作	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチタイピング 	
3	word入力操作 書式設定	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordの基本、文書の保存、読み込み 	
4	word入力操作 書式設定	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordの基本、文書の保存、読み込み 	
5	word書式設定 表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・入力操作の基本、書式設定、表の作成 	
6	word表の作成 グラフィック要素	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィック要素 1 	
7	Excel 表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成 	
8	Excel 保存 操作の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作、ブックの保存、読み込み 	
9	Excel 表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成 	
10	Excel数式と参照	<ul style="list-style-type: none"> ・数式と参照 	
11	Excel グラフ機能と挿入素材	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ機能と素材の挿入 	
12	Excel関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 	

週	テ　ー　マ	内　　容
13	Excel関数	・関数

週	テ　ー　マ	内　　容		
14	テキスト第4章のまとめ	・Excel演習問題+まとめ		
15	実務ドキュメント制作（Excel）	・実務ワークシート（請求書） ・グラフの作成・挿入があるワークシート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

評価基準	優 (50点)	良 (40点)	可 (30点)	不可 (10点)
理解度	各回のテーマを深く理解し、説明できる	基本的な内容を理解し、簡単に説明できる	部分的に理解し、説明が不十分	理解が浅く、説明ができない
授業参加態度	積極的に参加し、発言や質問を行う	参加し、時折発言や質問を行う	参加はするが、発言や質問が少ない	参加が消極的である

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
CAD演習 I		国際ITエンジニア学科 (電気・CADコース)／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ①2DCADシステムの基礎を学び、基本操作を身に付ける。
②電気・電設業界で活躍できるよう、エンジニアとして必要とされる知識を学習する。

授業終了時の到達目標

- 以下の到達目標を達成し、段階的評価を実施する。
A段階 Jw_cadの基本操作が一人で正確にできる、または正しく修正できる。+B・C
B段階 Jw_cadの基本操作が一人でできる。+C
C段階 CADによる製図の作図要領を理解し、覚えている。

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

- 授業の予習・復習
- 課題の実施

回	テ ー マ	内 容
1	授業概要説明 START 学習を始める前に	<ul style="list-style-type: none"> 起動と終了、画面構成 設定を変更 画面表示の変更
2	ドリル01 線をかく ドリル02 線の色と種類を決める	<ul style="list-style-type: none"> ドリル教材を開く・保存する 直線をかく/操作を取り消す、やり直す 水平線や垂直線をかく 専属性(線の色と種類)を決めて線をかく かいた線の専属性を変更する
3	ドリル03 線の複写・伸縮・ コーナー処理・面取 ドリル04 線を消去・伸縮・連結する	<ul style="list-style-type: none"> 線を複写する(複線) 線の伸縮やコーナー処理・面取りをする 線を消去する 線を伸縮する、連結する
4	ドリル05 矩形(長方形)をかく ドリル06 矩形(正方形)をかき、複写・ 移動・消去する	<ul style="list-style-type: none"> 矩形(長方形)をかき、着色する 基準点を指定して矩形(長方形)をかく 矩形(正方形)をかき、複写する 矩形(正方形)を移動・消去する
5	ドリル07 平行2重線(2線)をかく ドリル08 既存線の中心線・垂線・ 分割線をかく	<ul style="list-style-type: none"> 平行2重線(2線)をかく 折れ曲がって連続した2線をかく 既存線の中心線や垂線をかく 既存線の分割線をかく
6	ドリル09 円・円弧・橢円をかく ドリル10 文字をかく	<ul style="list-style-type: none"> 円や円弧をかく 橢円をかく 文字をかく 文字の基点を切り替えて文字をかく
7	ドリル11 かいた文字の変更や 特殊文字の入力 ドリル12 図形と文字の複写・移動	<ul style="list-style-type: none"> かいた文字を変更する 特殊文字を入力する 「図形複写」コマンドの機能 「図形移動」コマンドの機能
8	ドリル13 図形面を模様で 埋め尽くす(ハッチ) ドリル14 寸法をかく	<ul style="list-style-type: none"> 連続していない閉鎖線部分へのハッチ 連続している閉鎖線部分や円へのハッチ、中抜きハッチ 水平寸法、垂直寸法、斜線寸法をかく 引出線のない寸法をかく

回	テ　ー　マ	内　容		
9	ドリル15 図形面を着色する（ソリッド） ドリル16 包括処理やパラメトリック変形を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・図形面を着色する（ソリッド） ・ソリッドの色を取得・変更する ・包括処理を行う ・パラメトリック変形を行う 		
10	ドリル17 特殊な線をかく ドリル18 多角形、連続線、手書き風線などをかく	<ul style="list-style-type: none"> ・傾いた線、15°ごとの線、矢印線、寸法をかく ・傾いた線をかき、コーナー処理をする ・正多角形をかく ・連続線や手書き風線をかく 		
11	ドリル19 線記号変形、パラメトリック変形、伸縮、範囲選択の応用 ドリル20 平面図の建具図形を貼り付けて編集する	<ul style="list-style-type: none"> ・線記号変形、パラメトリック変形、線伸縮機能の応用 ・範囲選択機能の応用 ・建築図面の平面図の建具をかく① ・建築図面の平面図の建具をかく② 		
12	TRY 平面図をかこう①	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図用の建具平面図形を登録する ・平面図をかく 		
13	TRY 平面図をかこう②	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図をかく（続き） 		
14	建築CAD検定4級の問題にチャレンジする①	<ul style="list-style-type: none"> ・B 通り芯・寸法・通り芯記号 ・A 柱・壁・間仕切壁 		
15	建築CAD検定4級の問題にチャレンジする② 前期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・C 壁と窓 ・前期まとめ 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・「高校生から始めるJw_cad製図超入門」 ナクスナレッジ		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
電気工事概論 I		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位（90時間）	必須	松井 宏樹

授 業 の 概 要

以下の3つの目標を柱として授業を展開する

- ・第二種電気工事士の下期学科試験における資格取得を目指す
- ・将来的な電気工事の実務現場において円滑なコミュニケーションと業務を行うための振舞いを学習する
- ・電気設備技術基準に従った施工管理をするために必要な基本的知識を学ぶ

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階 電気の基礎理論および必要な法令を習得し実践できる +B+C

B段階 電気工事士として必要な知識(図記号、工具、配線設計、複線図等)を身に着け、実践できる +C

C段階 電気の専門職に必要な基礎的知識を覚え、正しく使用、表現できる(テストにて到達度をはかる)

時間外に必要な学修

授業の復習

課題をこなし提出、もしくは自己採点を行う

回	テ 一 マ	内 容
1	オリエンテーション	自己紹介 授業展開について 評価について説明する 第二種電気工事士資格について説明する
2	電気の基本	電気の基礎知識、単位、よく使う単語の説明 電気工事士に必要な基本的な数学知識、物理知識を説明する
3	はじめの一歩 I	電線の呼び名 電気工事の種類 接地工事 低圧受電の仕組み
4	はじめの一歩 II	屋内配線の極性 短絡事故と地絡事故 過電流 電気回路の電源と負荷
5	第一章 配線図記号 I	配線図を理解する 配線の図記号 配線の一般図記号
6	配線図記号 II	引込口配線の機器と図記号 照明器具の図記号
7	配線図記号 III	コンセントの図記号 スイッチ（点滅器）の図記号
8	配線図記号 IV	電動機・電熱器配線の図記号 電気機器の図記号
9	第二章 器具・材料と工具 I	絶縁電線とケーブルの種類・用途 電線の接続 ケーブル工事とボックス
10	器具・材料と工具 II	埋込形スイッチボックスの工事 電線管の種類と加工用工事 合成樹脂管工事
11	器具・材料と工具 III	金属管工事 2種金属製可とう電線管工事 金属線びと金属ダクト工事
12	器具・材料と工具 IV	ネオン放電灯工事 フロアダクト工事
13	器具・材料と工具 V	その他の器具と工具 測定器
14	器具・材料と工具 VI	誘導電動機 照明機器の光源
15	器具・材料と工具 VII	蛍光灯点灯回路 電気機器の力率
16	器具・材料と工具 VIII	太陽電池発電設備 コードの種類と用途

17	第三章 配線設計と電気工事 I	電気設備技術基準の規定 配電方式と対地電圧 絶縁電線の許容電流
18	配線設計と電気工事 II	電線を保護する過電流遮断器 屋内幹線と分岐回路 屋内幹線の設計
19	配線設計と電気工事 III	分岐回路の設計 引込線・引込口配線 屋外配線の施設
20	配線設計と電気工事 IV	施工場所と工事の種類 がいし引き工事 ケーブル工事
21	配線設計と電気工事 V	地中配線 合成樹脂管工事 金属管工事
22	配線設計と電気工事 VI	金属可とう電線管工事 金属線び工事 金属ダクト工事
23	配線設計と電気工事 VII	ライティングダクト工事 ショウウインドウ内工事
24	配線設計と電気工事 VIII	ネオン放電灯工事 小勢力回路
25	配線設計と電気工事 IX	メタルラス壁貫通工事 低圧機器の設置工事
26	配線設計と電気工事 X	漏電遮断器の施設と省略 住宅の屋内電路の対地電圧制限
27	配線設計と電気工事 XI	臨時配線 接触防護措置
28	本試験実力判定 I	第一章～第三章までの実力判断テストとその解説
29	第四章 検査方法 I	竣工検査の内容 絶縁抵抗の測定 接地抵抗の測定
30	検査方法 II	各種計器の種類と記号 各種計器の使い方
31	検査方法 III	検査方法のまとめ
32	第五章 法令 I	電気事業法 電気工事士法
33	法令 II	電気用品安全法 電気工事業法
34	法令 III	法令のまとめ
35	第六章 電灯配線と複線図 I	電灯回路問題の予備知識
36	電灯配線と複線図 II	電灯配線を複線図にする
37	電灯配線と複線図 III	リングスリーブの種類と圧着マーク
38	本試験実力判定 II	第一章～第六章までの実力判断テストとその解説
39	第七章 電気の基礎理論 I	電気抵抗と抵抗率及び導電率 抵抗の接続と合成抵抗器 直流回路とブリッジ回路
40	電気の基礎理論 II	分流器と倍率器 電流の発熱作用と電力量 交流電圧
41	電気の基礎理論 III	交流回路の基本 交流回路の位相差 単相交流の直並列回路
42	電気の基礎理論 IV	単相交流回路の電力と力率 三相交流回路 三相交流回路の電力と力率
43	電気の基礎理論 V	電圧降下と電力損失

44	期末テスト	選択式・記述式		
45	期末テストの解説	期末テストで誤答が多いものを解説し、本試験の注意点について説明する		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
ぜんぶ絵で見て覚える第二種電気工事士学科試験すい～っと合格 2025年版 私製教材・問題 他	課題評価 期末テスト	20% 80%		

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
電気工事技術演習 I		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	松井 宏樹

授 業 の 概 要

以下の3つの目標を柱として授業を展開する

- ・第二種電気工事士の技能試験における資格取得を目指す
- ・将来的な実務現場において、一般用電気工作物等の電気工事に係る基本的な作業を滞りなく行えるようになる
- ・電気設備技術基準に従った施工管理をするために必要な基本的知識を体系的に学ぶ

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階 電気工事に係る基本的な作業を速やかに行えること +B+C

B段階 電気工事に係る基本的な作業を誤りなく行えること +C

C段階 電気の専門職に必要な基礎的知識を覚え、正しく理解、表現できること

実務経験有無	実務経験内容
	第二種電気工事士技能試験の公表問題演習

時間外に必要な学修

授業の予習、復習

回	テ 一 マ	内 容
1	オリエンテーション	自己紹介 授業展開、評価について説明する 第二種電気工事士資格の技能試験について説明する
2	工具、用具、部材と単位作業	使用する工具、部材の説明 単位作業の実習
3	技能演習1_1	公表問題①の演習（1回目）
4	技能演習1_2	公表問題②の演習
5	技能演習1_3	公表問題③の演習
6	技能演習1_4	公表問題④の演習
7	技能演習1_5	公表問題⑤の演習
8	技能演習1_6	公表問題⑥の演習
9	技能演習1_7	公表問題⑦の演習
10	技能演習1_8	公表問題⑧の演習
11	技能演習1_9	公表問題⑨の演習
12	技能演習1_10	公表問題⑩の演習
13	技能演習1_11	公表問題⑪の演習
14	技能演習1_12	公表問題⑫の演習

15	技能演習1_13	公表問題⑩の演習	
16	技能演習1回目のまとめ	単位作業の復習 複線図の練習	
17	技能演習2_1	公表問題①の演習（2回目）	
18	技能演習2_2	公表問題②の演習	
19	技能演習2_3	公表問題③の演習	
20	技能演習2_4	公表問題④の演習	
21	技能演習2_5	公表問題⑤の演習	
22	技能演習2_6	公表問題⑥の演習	
23	技能演習2_7	公表問題⑦の演習	
24	技能演習2_8	公表問題⑧の演習	
25	技能演習2_9	公表問題⑨の演習	
26	技能演習2_10	公表問題⑩の演習	
27	技能演習2_11	公表問題⑪の演習	
28	技能演習2_12	公表問題⑫の演習	
29	技能演習2_13	公表問題⑬の演習	
30	技能演習2回目のまとめ	単位作業の復習 複線図の練習	
教科書・教材		評価基準	評価率
2025年度版 第二種電気工事士技能試験 公表問題の合格解答 私製教材・問題 他		実習評価	100%
その他			

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
国際系合同日本語		国際系3学科／1、2年	2025／通年 (前期分)	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回 (前期分)	8単位 (120時間) (前期分)	必須	N1 : 棚本 照枝 N2 : 森井 薫、 N2 : 宮本 由美、隅 有里 N3 : 大津 美奈子 N4 : 村田 滋子

授業の概要

- ・日本で就職した際に必要とされるレベルの日本語能力を養成する。
- ・7月と12月に行なわれるJ L P T試験合格を目指して学習を進める。
- ・J L P T試験合格に必要な文字語彙、文法、聴解、読解問題への対策授業を行う。

授業終了時の到達目標

- ・JLPTN4、N3、N2、N1合格 レベルの日本語能力を身に付ける。
- 以上の目標がどの程度達成できたか、各レベルの出題範囲、難易度に合わせた期末試験、課題、確認テストの得点率によって、次のように評価する。A段階 80~100%、B段階 70~79%、C段階 60~69%

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
- ・課題の実施

回	テ ー マ	内 容
1～4	レベルチェックテスト第1回 授業の概要と進め方説明 文法/読解/聴解/文字・語彙対策①	・*レベルチェックテスト第1回解答・解説 ・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと①) ・読解① ・聴解① ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと①、HW1/2回分ごと①)
6～9	文法/読解/聴解/文字・語彙対策②	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと②) ・読解② ・聴解② ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと②、HW1/2回分ごと②)
11～14	文法/読解/聴解/文字・語彙対策③	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと③) ・読解③ ・聴解③ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと③、HW1/2回分ごと③)
16～19	文法/読解/聴解/文字・語彙対策④	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと④) ・読解④ ・聴解④ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと④、HW1/2回分ごと④)
21～24	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑤	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑤) ・読解⑤ ・聴解⑤ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑤、HW1/2回分ごと⑤)
26～29	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑥	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑥) ・読解⑥ ・聴解⑥ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑥、HW1/2回分ごと⑥)
31～34	レベルチェックテスト第2回 文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑦	・レベルチェックテスト第2回実施 ・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑦) ・読解⑦ ・聴解⑦ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑦、HW1/2回分ごと⑦)
36～39	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑧	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑧) ・読解⑧ ・聴解⑧ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑧、HW1/2回分ごと⑧)
41～44	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑨	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑨) ・読解⑨ ・聴解⑨ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑨、HW1/2回分ごと⑨)
46～49	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑩	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑩) ・読解⑩ ・聴解⑩ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑩、HW1/2回分ごと⑩)
51～54	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑪	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑪) ・読解⑪ ・聴解⑪ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑪、HW1/2回分ごと⑪)
56～59	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑫	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑫) ・読解⑫ ・聴解⑫ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑫、HW1/2回分ごと⑫)
61～64	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑬	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑬) ・読解⑬ ・聴解⑬ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑬、HW1/2回分ごと⑬)
66～69	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑭ 前期期末試験についての説明	・文法 (1課ごと、HW1/2回分ごと⑭) ・読解⑭ ・聴解⑭ ・文字・語彙 (漢字 1/2課ごと・語彙1/2課ごと⑭、HW1/2回分ごと⑭)

回	テ　ー　マ	内　　容		
71～ 74	前期期末試験実施 前期期末試験解答・解説	前期期末試験実施、解答・解説		
	教科書・教材 N4 「スピードマスターN4」漢字、文法、聽解、読解 「はじめての日本語能力試験N4単語1500」 N3 「はじめての日本語能力試験N3単語2000」 「新完全マスターN3」漢字、聽解 「TRY日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語」 「必ずできる！JLPT「読解」N3」 「直前対策ドリル＆模試N3文字・語彙・文法」 N2 「改訂版日本語総まとめ問題集N2漢字」 「はじめての日本語能力試験N2単語2500」 「新完全マスターN2文法」 「N2聽解スピードマスター」 「日本語能力試験N2読解必修パターン」 「直前対策ドリル＆模試N2文字・語彙・文法」 N1 「改訂版総まとめ問題集N1漢字」 「はじめての日本語能力試験N1単語3000」 「TRY日本語能力試験N1 文法から伸ばす日本語」 「日本語能力試験N1必修パターン」 聽解、読解 「パワードリルN1」 文字・語彙、文法	評価基準 期末試験 課題・確認テスト	評価率 60.0% 40.0%	その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
応用日本語 I		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	大津 美奈子

授業 の 概 要

- ・スムーズに専門科目の授業を受講できるよう、日本語、特に語彙を中心にフォローをする。

授業終了時の到達目標

- ・「電気工事概論 I」の授業に問題なくついていくとともに内容を理解し、学生自身の自立的な学習方法を確立する。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習

回	テ ー マ	内 容
1	授業の概要と進め方説明 はじめの一歩 I・II	授業の概要と進め方説明 電線の呼び名 電気工事の種類 接地工事 低圧受電の仕組み 屋内配線の極性 短絡事故と地絡事故 過電流 電気回路の電源と負荷
2	第一章 配線図記号 I・II	配線図を理解する 配線の図記号 配線の一般図記号 引込口配線の機器と図記号 照明器具の図記号
3	配線図記号 III・IV	コンセントの図記号 スイッチ（点滅器）の図記号 電動機・電熱器配線の図記号 電気機器の図記号
4	第二章 器具・材料と工具 I・II	絶縁電線とケーブルの種類・用途 電線の接続 ケーブル工事とボックス 埋込形スイッチボックスの工事 電線管の種類と加工用工事 合成樹脂管工事
5	器具・材料と工具 III・IV	金属管工事 2種金属製可とう電線管工事 金属線びと金属ダクト工事 ネオン放電灯工事 フロアダクト工事
6	器具・材料と工具 V・VI	その他の器具と工具 測定器 誘導電動機 照明機器の光源
7	器具・材料と工具 VII・VIII	蛍光灯点灯回路 電気機器の力率 太陽電池発電設備 コードの種類と用途
8	第三章 配線設計と電気工事 I・II	電気設備技術基準の規定 配電方式と対地電圧 絶縁電線の許容電流 電線を保護する過電流遮断器 屋内幹線と分岐回路 屋内幹線の設計
9	配線設計と電気工事 III・IV	分岐回路の設計 引込線・引込口配線 屋外配線の施設 施工場所と工事の種類 がいし引き工事 ケーブル工事
10	配線設計と電気工事 V・VI	地中配線 合成樹脂管工事 金属管工事 金属可とう電線管工事 金属線び工事 金属ダクト工事
11	配線設計と電気工事 VII・VIII	ライティングダクト工事 ショウウインドウ内工事 ネオン放電灯工事 小勢力回路
12	配線設計と電気工事 IX・X	メタルラス壁貫通工事 低圧機器の設置工事 漏電遮断器の施設と省略 住宅の屋内電路の対地電圧制限
13	第四章 検査方法 I・II	竣工検査の内容 絶縁抵抗の測定 接地抵抗の測定 各種計器の種類と記号 各種計器の使い方
14	検査方法 III 第五章 法令 I	検査方法のまとめ 電気事業法 電気工事士法
15	法令 II・III	電気用品安全法 電気工事業法 法令のまとめ

教科書・教材

「ぜんぶ絵で見て覚える第二種電気工事士学科試験
すい～っと合格 2025年版」オーム社

評価基準

評価率

その他

国際系合同日本語授業で
日本語としての評価を行う

回	テ　ー　マ	内　　容		

作成者：

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅡ	国際ITエンジニア学科 電気・CADコース／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須

授業の概要

- ・現代社会で必須となるITに関する基礎知識を体系的に学習する。
- ・教科書の単元内容の説明を日本語で行うとともに、教科書の説明では不足している専門用語について別途作成のコンテンツにより、解説する。
- ・教科書の単元ごとに準備されている「単元確認問題」により、各単元内容の理解度を図り、その解説により理解度を深めるようする。
- ・教科書には留学生が情報処理の基礎知識を学習するための入門書として、漢字とカタカナにはルビが振られているものを使用する。

授業終了時の到達目標

- ・情報技術を適切に活用することができ、日本での日常生活や学校生活、将来のキャリアに役立てるためのITリテラシーを身に付ける。
- ・パソコン利用（特にインターネット利用）に必要な知識の習得ができている。

実務経験有無	実務経験内容
有	システムハウスでのプログラマー、システムエンジニアとして10年間の勤務および、専門学校での情報分野科目を31年間担当。

時間外に必要な学修

- ・単元ごとに準備されている「単元確認問題」を整理し、各自の理解に役立てる。
- ・普段からコンピュータに興味を持ち、利用するだけでなく知識を身に付けることを心がける。
- ・授業を通じて、インターネットの活用についてスマートフォンやタブレットを安全に利用することを心がける。

回	テーマ	内容
1	単元12「認証技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・認証技術の必要性と種類について理解する。 ・IDとパスワードによる認証、デジタル署名、時刻認証について理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
2	単元13「システムの構成」	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムとその分類について理解する。 ・クライアントサーバシステム、ピアツーピアシステム、Webシステムについて理解する。 ・オペレーティングシステムとアプリケーションソフトについて理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
3	単元14「システムの評価指標」①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの性能を表す用語を理解する。 ・平均故障間動作時間、平均修理時間、稼働率の計算方法を学び、練習問題で計算してみる。
4	単元14「システムの評価指標」② 単元15「マルチメディア技術」①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの経済性を表す指標、情報システムの高信頼化について理解する。 ・マルチメディアとデータ圧縮について理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。

回	テ　ー　マ	内　　容
5	単元15「マルチメディア技術」②	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的なファイル形式の名称とその内容について学ぶ。 ・色の表現（光の3原色、色の3原色）を理解する。 ・マルチメディア技術の応用について知る。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
6	単元16「ヒューマンインターフェース技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンインターフェースの種類について学ぶ。 ・GUIとユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
7	単元17「システム開発技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発プロセスについて理解する。 ・ソフトウェアの見積り技術、開発モデルを知る。 ・アジャイル型ソフトウェア開発手法について学ぶ。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
8	単元18「データ構造とアルゴリズム」①	<ul style="list-style-type: none"> ・データ構造の種類と問題解決型データ構造についてを理解する。 ・アルゴリズムと流れ図を理解する。
9	単元18「データ構造とアルゴリズム」②	<ul style="list-style-type: none"> ・基本アルゴリズムについて学ぶ。 ・基本処理、探索処理、整列処理について理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
10	単元20「プロジェクトマネジメント」①	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールサービスの詳細内容を理解する。 ・IPアドレスの仕組みを知る。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
11	単元20「プロジェクトマネジメント」② 単元21「サービススマネジメント」①	<ul style="list-style-type: none"> ・JISが定めている情報セキュリティの特性を学ぶ。 ・リスクマネジメントの手順と実際のセキュリティリスクの種類について理解する。
12	単元21「サービススマネジメント」② 単元22「システム監査と内部統制」①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティマネジメントについて学ぶ。 ・情報セキュリティに関する具体的対策を学ぶ。（人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策） ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。
13	単元22「システム監査と内部統制」② 単元23「企業活動と組織形態」	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関する具体的対策を学ぶ。（物理的セキュリティ対策、IoTのセキュリティ対策） ・生体認証に関する動画視聴。 ・暗号技術の必要性を理解する。 ・共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式の仕組みを理解する。 ・学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。

回	テ　ー　マ	内　　容		
14	単元26「企業法務」	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド暗号方式の仕組みを理解する。 暗号技術の応用と無線LANの暗号化について学ぶ。 学習した内容について単元確認問題の実施と解説により確認する。 		
教科書・教材	評価基準	評価率	その他	
留学生のためのITリテラシー（インフォテック・サーブ） テキストの内容に合わせたオリジナル説明資料 単元ごとに準備されている「単元確認問題」	確認テスト 期末試験	20.0% 80.0%		

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
ドキュメント制作演習Ⅱ	国際ITエンジニア／1年生	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	1単位 15時間	必須

授業の概要

パソコンを使用して、スライドなどのドキュメント作成上の基礎を身に付ける。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し、段階的評価を実施する。

A段階 プレゼン資料としてのスライド作成、プレゼン発表の仕方共に、オーディエンスにとって分かりやすく、納得できる工夫や配慮が全体を通して随所に見られる。+B・C

B段階 発表テーマや発表意図に即した適切な素材選びができ、オーディエンスに伝わりやすいプレゼン資料としてのスライドが作成できている。+C

C段階 PPTの基本を身に付け、プレゼン資料としてのスライドの作成ができる。写真挿入、動画挿入、アニメーション効果の使用ができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	<ul style="list-style-type: none"> 業務を通してドキュメント作成上の基本操作やアプリケーションソフト操作のノウハウを蓄積。 Microsoft Office Specialist (Word/Excel/PowerPoint) 取得。

時間外に必要な学修

- ルビのない簡単な日本語の文章を普段から読むようにする。
- 濁音、撥音、促音を含む語彙を正確に発音するように注意する。
- 授業の予習・復習・課題の実施

週	テーマ	内容
1	PowerPointの基本	起動と画面
2	PowerPointの基本	スライドの作り方
3	PowerPointの基本	保存・読み込み
4	素材の利用	デザイン
5	素材の利用	図形やテキストボックスの挿入
6	メディアの利用とアニメーション効果	オーディオの利用
7	メディアの利用とアニメーション効果	アニメーション効果
8	メディアの利用とアニメーション効果	ビデオの利用
9	実務ドキュメント制作 (PowerPoint)①	・プレゼン資料作成①
10	実務ドキュメント制作 (PowerPoint)②	・プレゼン資料作成②
11	実務ドキュメント制作 (PowerPoint)③	・プレゼン資料作成③ (写真素材挿入)
12	実務ドキュメント制作 (PowerPoint)④	・プレゼン資料作成④ (動画素材挿入)

週	テ　ー　マ	内　　容
13	実務ドキュメント制作 (PowerPoint)⑤	・プレゼン資料作成⑤ (アニメーション効果使用)

週	テ　ー　マ	内　　容		
14	プレゼン発表会練習	・プレゼン発表練習		
15	プレゼン発表会	・プレゼン発表会		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

評価基準	優 (50点)	良 (40点)	可 (30点)	不可 (10点)
理解度	各回のテーマを深く理解し、説明できる	基本的な内容を理解し、簡単に説明できる	部分的に理解し、説明が不十分	理解が浅く、説明ができない
授業参加態度	積極的に参加し、発言や質問を行う	参加し、時折発言や質問を行う	参加はするが、発言や質問が少ない	参加が消極的である

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
CAD演習Ⅱ	国際ITエンジニア学科 (電気・CADコース)／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	4単位(60時間)	必須
			大津 美奈子

授業の概要

- ①2DCADシステムの基礎を学び、基本操作を身に付ける。
 - ②電気・電気工事業界で活躍できるよう、エンジニアとして必要とされる知識を学習する。
 - ③「建築CAD検定試験」3級合格レベルの技術と知識を身に付ける。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し、段階的評価を実施する。

A段階 「建築CAD検定試験」3級合格レベルの技術と知識が身に付いている。+B・C

B段階 建築分野の設計・製図の基礎を理解し、基本操作ができる。+C

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
 - ・課題の実施

回	テ　ー　マ	内　容
1～ 2	授業概要説明 Jw_CAD設定 建築CAD検定試験対策①	<ul style="list-style-type: none"> ・建築CAD検定3級とは ・Jw_CAD設定（線種） ・3級演習問題 Ver. 1 B（通り芯・寸法・通り芯番号） C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 2 B（通り芯・寸法・通り芯番号）
3～ 4	建築CAD検定試験対策②	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 2 C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 3 B（通り芯・寸法・通り芯番号） C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 4 B（通り芯・寸法・通り芯番号）
5～ 6	建築CAD検定試験対策③	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 4 C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 5 B（通り芯・寸法・通り芯番号） C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 6 B（通り芯・寸法・通り芯番号）
7～ 8	建築CAD検定試験対策④	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 6 C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 7 B（通り芯・寸法・通り芯番号） C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 8 B（通り芯・寸法・通り芯番号）
9～ 10	建築CAD検定試験対策⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 8 C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 9 B（通り芯・寸法・通り芯番号） C（柱・壁・間仕切壁） Ver. 1 D（壁と窓）
11～ 12	建築CAD検定試験対策⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 1 A（階段平面図） Ver. 2 D（壁と窓） A（階段平面図） Ver. 3 D（壁と窓）
13～ 14	建築CAD検定試験対策⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 3 A（階段平面図） Ver. 4 D（壁と窓） A（階段平面図） Ver. 5 D（壁と窓）
15～ 16	建築CAD検定試験対策⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・3級演習問題 Ver. 5 A（階段平面図） Ver. 6 D（壁と窓） A（階段平面図） Ver. 7 D（壁と窓）

回	テ　ー　マ	内　　容		
17～ 18	建築CAD検定試験対策⑨	• 3級演習問題 Ver. 7 A (階段平面図) Ver. 8 D (壁と窓) A (階段平面図) Ver. 8 D (壁と窓)		
19～ 20	建築CAD検定試験対策⑩	• 3級演習問題 Ver. 8 A (階段平面図) Ver. 9 D (壁と窓) A (階段平面図) Ver. 11 D (壁と窓)		
21～ 22	建築CAD検定試験対策⑪	• 3級演習問題 Ver. 11 A (階段平面図) Ver. 12 D (壁と窓) A (階段平面図) Ver. 13 D (壁と窓)		
23～ 24	建築CAD検定試験対策⑫	• 3級演習問題 Ver. 13 A (階段平面図) Ver. 14 D (壁と窓) A (階段平面図) Ver. 15 A (階段平面図)		
25～ 26	建築CAD検定試験対策⑬	• 3級演習問題 Ver. 16 A (階段平面図) Ver. 17 A (階段平面図) Ver. 18 A (階段平面図) Ver. 19 A (階段平面図)		
27～ 28	建築CAD検定試験対策⑭	• 3級演習問題 Ver. 20 A (階段平面図) Ver. 21 A (階段平面図) Ver. 22 A (階段平面図) Ver. 23 A (階段平面図)		
29～ 30	建築CAD検定試験対策⑮ 後期まとめ	• 3級演習問題 Ver. 10 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) • 後期まとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
• 「2025年度版建築CAD検定公式 ガイドブック」 エクスナレッジ • 「建築CAD検定試験」過去問題集 2025年度版 AACL		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
電気工事概論Ⅱ		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松井 宏樹

授 業 の 概 要

以下の3つの目標を柱として授業を展開する

- ・第二種電気工事士の下期学科試験における合格を目指す
- ・電気工事概論Ⅰで学んだ基礎知識を使い、試験問題を解くことで電気工事士の理解を深める
- ・電気設備技術基準に従った施工管理をするために必要な応用的知識を学ぶ

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階 電気の基礎理論および必要な法令を習得し実践できる +B+C

B段階 電気工事士として必要な知識を身に着け、問い合わせに対して正しく解答できる +C

C段階 電気の専門職に必要な基礎的知識を覚え、正しく使用、表現できる（テストと課題にて到達度をはかる）

時間外に必要な学修

課題として、指示した第二種電気工事士過去問を解き、答え合わせを行う

その他自主学習として、図記号、単語を暗記する。

回	テ　ー　マ	内　容
1	オリエンテーション	授業展開について 評価について説明する 試験勉強の仕方について説明する
2	前期の復習Ⅰ	重要ポイント丸暗記ノートを使って前期の総復習を行う
3	前期の復習Ⅱ	重要ポイント丸暗記ノートを使って前期の総復習を行う
4	過去問実習Ⅰ	過去問：令和4年（上期・午前）を教科書を使って解く
5	過去問解説Ⅰ	過去問：令和4年（上期・午前）の答え合わせと解説
6	過去問実習Ⅱ	過去問：令和4年（下期・午前）を解く

7	過去問解説Ⅱ	過去問：令和4年（下期・午前）の答え合わせと解説		
8	過去問実習Ⅲ	過去問：令和3年（上期・午前）を解く		
9	過去問解説Ⅲ	過去問：令和3年（上期・午前）の答え合わせと解説		
10	過去問実習Ⅳ	過去問：令和3年（下期・午前）を解く		
11	過去問解説Ⅳ	過去問：令和3年（下期・午前）の答え合わせと解説		
12	過去問実習Ⅴ	過去問：令和2年（下期・午前）を解く		
13	過去問解説Ⅴ	過去問：令和2年（下期・午前）の答え合わせと解説		
14	試験対策最終確認	過去問：令和元年（上期）を解く		
15	期末テスト	期末テストを行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
2025年版 第二種電気工事士学科試験 標準 解答集 私製教材・問題 他		課題 期末テスト	50% 50%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
電気工事技術演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	松井 宏樹

授 業 の 概 要

以下の3つの目標を柱として授業を展開する

- ・第二種電気工事士の技能試験における資格取得を目指す
- ・将来的な実務現場において、一般用電気工作物等の電気工事に係る基本的な作業を滞りなく行えるようになる
- ・電気設備技術基準に従った施工管理をするために必要な基本的知識を体系的に学ぶ

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階 電気工事に係る基本的な作業を速やかに行えること +B+C

B段階 電気工事に係る基本的な作業を誤りなく行えること +C

C段階 電気の専門職に必要な基礎的知識を覚え、正しく理解、表現できること

実務経験有無	実務経験内容
	第二種電気工事士技能試験の公表問題演習

時間外に必要な学修

授業の予習、復習

回	テ 一 マ	内 容
1	学科試験対策Ⅰ	学科試験の過去問演習
2	学科試験対策Ⅱ	学科試験の過去問演習
3	学科試験対策Ⅲ	学科試験の過去問演習
4	学科試験対策Ⅳ	学科試験の過去問演習
5	技能演習3_1	公表問題①の演習（3回目）
6	技能演習3_2	公表問題②の演習
7	技能演習3_3	公表問題③の演習
8	技能演習3_4	公表問題④の演習
9	技能演習3_5	公表問題⑤の演習
10	技能演習3_6	公表問題⑥の演習
11	技能演習3_7	公表問題⑦の演習
12	技能演習3_8	公表問題⑧の演習
13	技能演習3_9	公表問題⑨の演習
14	技能演習3_10	公表問題⑩の演習

15	技能演習3_11	公表問題①の演習	
16	技能演習3_12	公表問題②の演習	
17	技能演習3_13	公表問題③の演習	
18	技能演習4_1	公表問題①の演習（4回目）	
19	技能演習4_2	公表問題②の演習	
20	技能演習4_3	公表問題③の演習	
21	技能演習4_4	公表問題④の演習	
22	技能演習4_5	公表問題⑤の演習	
23	技能演習4_6	公表問題⑥の演習	
24	技能演習4_7	公表問題⑦の演習	
25	技能演習4_8	公表問題⑧の演習	
26	技能演習4_9	公表問題⑨の演習	
27	技能演習4_10	公表問題⑩の演習	
28	技能演習4_11	公表問題⑪の演習	
29	技能演習4_12	公表問題⑫の演習	
30	技能演習4_13	公表問題⑬の演習	
教科書・教材		評価基準	評価率
2025年度版 第二種電気工事士技能試験 公表問題の合格解答 私製教材・問題 他		実習評価	100%

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態				
国家試験対策 I (電気工事士)		国際ITエンジニア学科（電気・CADコース）／1年	2025／後期	演習				
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員				
90分	30回	4単位 (60時間)	必須	松井 宏樹				
授 業 の 概 要								
第二種電気工事士の下期学科試験における合格を目指し、そのために必要な知識と学習手法を学ぶ。								
授業終了時の到達目標								
国家試験を合格するために必要な知識を覚え、意味を理解していること（課題と実習にて到達度を図る）								
実務経験有無	実務経験内容							
	第二種電気工事士技能試験の公表問題演習							
時間外に必要な学修								
課題として、指示した第二種電気工事士過去問を解き、答え合わせを行う。その他自主学習として、図記号、単語を暗記する。								
回	テ 一 マ	内 容						
1	オリエンテーション	授業展開について 評価について説明する 試験勉強の仕方について説明する						
2	学科試験対策 I	過去問：令和5年（上期・午前）						
3	学科試験対策 II	過去問：令和5年（下期・午前）						
4	学科試験対策 III	過去問：令和元年（上期）						

5	学科試験対策Ⅳ	過去問：令和4年（上期・午後）
6	学科試験対策Ⅴ	過去問：令和4年（下期・午後）
7	学科試験対策Ⅵ	過去問：令和3年（上期・午後）
8	学科試験対策Ⅶ	過去問：令和3年（下期・午後）
9	学科試験対策Ⅷ	過去問：令和2年（下期・午後）
10	学科試験対策Ⅸ	過去問：令和6年（上期）
11	学科試験対策Ⅹ	過去問：令和6年（下期）
12	学科試験演習1	模試形式で学習する。
13	学科試験演習2	模試形式で学習する。
14	学科試験演習3	模試形式で学習する。
15	学科試験演習4	模試形式で学習する。
16	学科試験演習5	模試形式で学習する。
17	学科試験演習6	模試形式で学習する。
18	技能演習5_1	公表問題①の演習（5回目）
19	技能演習5_2	公表問題②の演習
20	技能演習5_3	公表問題③の演習
21	技能演習5_4	公表問題④の演習
22	技能演習5_5	公表問題⑤の演習

23	技能演習5_6	公表問題⑥の演習		
24	技能演習5_7	公表問題⑦の演習		
25	技能演習5_8	公表問題⑧の演習		
26	技能演習5_9	公表問題⑨の演習		
27	技能演習5_10	公表問題⑩の演習		
28	技能演習5_11	公表問題⑪の演習		
29	技能演習5_12	公表問題⑫の演習		
30	技能演習5_13	公表問題⑬の演習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「2024年版 第二種電気工事士学科試験 標準解答集」 「2025年度版 第二種電気工事士技能試験 公表問題の合格解答」 「私製教材・問題」		課題 実習評価	20% 80%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態				
国際系合同日本語		国際系3学科／1、2年	2025／通年 (後期分)	講義				
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員				
90分	60回 (後期分)	8単位 (120時間) (後期分)	必須	N1：棕本 照枝 N2：大津 美奈子、宮本 由美 N3：村田 滋子 N4：馬場 隆信				
授 業 の 概 要								
<ul style="list-style-type: none"> 日本で就職した際に必要とされるレベルの日本語能力を養成する。 7月と12月に行なわれるJ L P T試験合格を目指して学習を進める。 J L P T試験合格に必要な文字語彙、文法、聴解、読解問題への対策授業を行う。 								
授業終了時の到達目標								
<ul style="list-style-type: none"> JLPTN4、N3、N2、N1合格 レベルの日本語能力を身に付ける。 <p>以上の目標がどの程度達成できたか、各レベルの出題範囲、難易度に合わせた期末試験、課題、確認テストの得点率によって、次のように評価する。A段階 80~100%、B段階 70~79%、C段階 60~69%</p>								
実務経験有無	実務経験内容							
時間外に必要な学修								
<ul style="list-style-type: none"> 授業の予習・復習 課題の実施 								
回	テ ー マ	内 容						
1～4	レベルチェックテスト第3回 授業の概要と進め方説明 文法/読解/聴解/文字・語彙対策①	<ul style="list-style-type: none"> レベルチェックテスト第3回解答・解説 文法 (1課ごと) ① ・ 読解① ・ 聴解① 文字 (2課ごと) ① ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ① 宿題 						
5～8	文法/読解/聴解/文字・語彙対策②	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ② ・ 読解② ・ 聴解② 文字 (2課ごと) ② ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ② 宿題 						
9～12	文法/読解/聴解/文字・語彙対策③	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ③ ・ 読解③ ・ 聴解③ 文字 (2課ごと) ③ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ③ 宿題 						
13～16	文法/読解/聴解/文字・語彙対策④	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ④ ・ 読解④ ・ 聴解④ 文字 (2課ごと) ④ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ④ 宿題 						
17～20	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑤	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑤ ・ 読解⑤ ・ 聴解⑤ 文字 (2課ごと) ⑤ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑤ 宿題 						
21～24	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑥	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑥ ・ 読解⑥ ・ 聴解⑥ 文字 (2課ごと) ⑥ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑥ 宿題 						
25～28	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑦	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑦ ・ 読解⑦ ・ 聴解⑦ 文字 (2課ごと) ⑦ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑦ 宿題 						
29～32	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑧	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑧ ・ 読解⑧ ・ 聴解⑧ 文字 (2課ごと) ⑧ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑧ 宿題 						
33～36	レベルチェックテスト第4回 文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑨	<ul style="list-style-type: none"> レベルチェックテスト第4回解答・解説 文法 (1課ごと) ⑨ ・ 読解⑨ ・ 聴解⑨ 文字 (2課ごと) ⑨ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑨ 宿題 						
37～40	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑩	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑩ ・ 読解⑩ ・ 聴解⑩ 文字 (2課ごと) ⑩ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑩ 宿題 						
41～44	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑪	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑪ ・ 読解⑪ ・ 聴解⑪ 文字 (2課ごと) ⑪ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑪ 宿題 						
45～48	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑫	<ul style="list-style-type: none"> 文法 (1課ごと) ⑫ ・ 読解⑫ ・ 聴解⑫ 文字 (2課ごと) ⑫ ・ 語彙 (1/2Sectionごと) ⑫ 宿題 						

回	テ　ー　マ	内　　容			
49～52	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑬	・文法 (1課ごと) ⑬ ・文字 (2課ごと) ⑬ ・宿題			
53～56	文法/読解/聴解/文字・語彙対策⑭ 後期期末試験についての説明	・文法 (1課ごと) ⑭ ・文字 (2課ごと) ⑭ ・宿題			
57～60	後期期末試験実施 後期期末試験解答・解説	後期期末試験実施、解答・解説			
教科書・教材 N4 「留学生のための漢字の教科書 初級300」 「はじめての日本語能力試験N4単語1500」 「ポイント＆プラクティス4級」 文字・語彙、文法、聴解 N3 「はじめての日本語能力試験N3単語2000」 「TRY日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語」 「スピードマスターN3」 漢字、読解 N2 「改訂版日本語総まとめ問題集N2漢字」 「はじめての日本語能力試験N2単語2500」 「新完全マスターN2文法」 「よくわかる！日本語能力試験合格テキストN2聴解」① 「1回で合格！日本語能力試験N2読解」① 「とりあえず日本語能力試験対策N2読解」① 「完全マスターN2読解」① 「必ずできる！JLPT「読解」N2」② N1 「改訂版総まとめ問題集N1漢字」 「はじめての日本語能力試験N1単語3000」 「新完全マスターN1聴解」 「学ぼうにほんご中上級」 「パワードリルN1」 文字・語彙、文法			評価基準 期末試験 課題・確認テスト	評価率 60.0% 40.0%	その他

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態				
キャリアデザインⅠ		国際ITエンジニア学科 (電気・CADコース)／1年	2025／後期	講義				
授業時間	総回数	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者				
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大津 美奈子				
授業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> 専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。 日本で働くために必要なルールを知り、ビジネスマナーを身につける。 								
授業終了時の到達目標								
①自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて日本語で表現することが出来る。 ②日本での就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る。 ③日本で働く上での心構えや行動、身だしなみ、考え方、受け取り方、話し方、聞き取り方など幅広い決まり事を身に付ける。 以上目標がどの程度達成できたか、後期末に実施する期末試験と提出を課した課題について、得点率によって次のように評価する。A段階 80~100%、B段階 70~79%、C段階 60~69%								
実務経験有	実務経験内容							
有	日本語教育機関で学生の進路指導を担当。また教職員採用や労務管理に従事した経験を有す。							
時間外に必要な学修								
<ul style="list-style-type: none"> 「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気付くこと」を習慣化する。 学校やアルバイト先など日本人とのコミュニケーションの中で、学んだことを意識し実践してみる。 								
回数	テーマ	内容						
1	授業の概要と進め方 履歴書を完成する	<ul style="list-style-type: none"> 自己PR作成のポイントを解説 自己PR作成の注意点 自己PRを作成する 						
2	面接のポイントを理解する①	<ul style="list-style-type: none"> 面接の基本 面接試験のマナー 身だしなみマナー 						
3	面接のポイントを理解する②	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な敬語表現 面接試験で聞かれる質問例 						
4	面接のポイントを理解する③	<ul style="list-style-type: none"> 面接の準備をする(話す内容を日本語で考える) 						
5	面接のポイントを理解する④	<ul style="list-style-type: none"> 模擬面接で話す練習をする 						
6	ビジネスコミュニケーション①	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と働く心がまえ 上司・先輩とのつきあい方 同僚とのつきあい方 						
7	ビジネスコミュニケーション②	<ul style="list-style-type: none"> 就業時間外のつきあい方 身だしなみ チームワーク 						
8	ビジネスコミュニケーション③	<ul style="list-style-type: none"> 配慮のある話し方 話の進め方 						
9	ビジネスのルール①	<ul style="list-style-type: none"> 時間厳守 就業時間 テレワーク 						
10	ビジネスのルール②	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ お辞儀 報告・連絡・相談 						

11	ビジネスのルール③	・情報管理 ・ハラスメント	
12	社内のマナー①	・話を聞くとき ・指示を受けるとき ・注意を受けたとき	
13	社内のマナー②	・退社時のマナー ・慶弔のマナー ・贈答のマナー	
14	社内のマナー③	・食事のマナー ・お酒の席のマナー	
15	後期期末試験	・後期期末試験の実施 ・後期期末試験解答・解説	
教科書・教材		評価基準	評価率
・「留学生版 就職の手引き」就職CC ・「改訂版 留学生・日本で働く人のための ビジネスマナーとルール」 日本能率協会マネジメントセンター		課題評価 期末試験	40.0% 60.0%